

科目分類		養護教諭課程		開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14024	3	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)		道徳教育／総合的な学習の時間の指導法 (Moral education／Teaching methods for integrated learning)			
担当教員名		齋藤 道子			
授業の概要及び到達目標					
<授業概要> ・新教職課程コアカリキュラムの「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の①「道徳教育」、並びに②新設科目「総合的な学習の時間」の学校教育における意義と目標についての理解を深める。また、21世紀に求められる「資質・能力」の育成概念、並びに新学習指導要領を踏まえ、「主体的で、対話的で、深い学び」に基づく「授業改善」・「カリキュラム・マネジメント」について学修し、確かな実践力・指導力の育成を図る。 ・①②を踏まえ、より確かな「資質・能力」の育成を図るための「体験の充実」「メタ認知活用」による「道徳科」と「総合的な学習の時間」との効果的連携に基づく横断的・統合的な学びの展開について学修し、確かな実践力・指導力の育成を図る。 <到達目標> ・アクティブ・ラーニングの手法に基づき、21世紀型学力、新学習指導要領を基に21世紀に求められる「資質・能力」の育成についての理解を深める。 ・学習指導要領をもとに「道徳教育」、「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間」の意義と目標について理解し、新たな視点に基づく「授業改善」・「カリキュラム・マネジメント」・「全体指導計画・年間指導計画の作成」・「評価観点と評価」等を学修し、具体的な授業づくり、模擬授業を通して、確かな実践力・指導力を身に付け、生きて働く即戦力を培う。					
準備学習等					
・第1回目のオリエンテーションで、今後の学習の進め方・使用テキスト・各授業に係る事前課題の周知・全授業後のレポートの課題等について周知し、学生が見通しをもって主体的に学修し、授業における学びを深められるようにする。 ・各授業ごとに課題について自分で学んだ内容をA41枚のレポートにまとめて提出し、アクティブラーニングの手法を用いて、学生たちがより主体的、対話的に深く学んでいけるようにする。また、毎授業後に、振り返りをさせ自己の学びの確認と新たな課題を捉えられるようにする。 ・これまで培ってきた実践を生かし、実際の学校現場の実態や指導事例を紹介しつつ授業を行い、学生が高い関心や課題意識をもって全授業に積極的に取り組み、生きて働く実践力や指導力を身に付けられるようにする。					

成績評価の方法	授業での取組（４０％）・毎時間の事前課題のレポート（１０％）・毎時間の事後の振り返り（１０％）・全授業後のレポート内容（４０％）
テキスト	・「学習指導要領」（文部科学省） ・「小学校学習指導要領解説―道徳編」（文部科学省） ・「小学校学修指導要領解説―総合的な学習の時間編」（文部科学省）
参考図書	・「資質・能力」（国研ライブラリー）理論編・実践編（東洋館） ・学校保健の課題とその対応（日本学校保健会） ・小学校・中学校「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデル」（東京都教職員研修センター） ・「わたしたちの道徳」（文部科学省） ・道徳性の発達理論（ピアジェ・コールバーグ・オールポート等）
備 考	・道徳性の育成は、教育の目的「人格の完成」に大きく関わるものと受け止める。また、自己のよりよい生き方や在り方は、生涯に亘って個々が追究し続ける大切な課題であると考え。学生諸君にも本講義を通して積極的にたくさん学んでいただきたい。
授 業 計 画	
授業計画 第１回・オリエンテーション（今後の学習の進め方とテキスト・全授業の内容と事前課題の周知） ・ 21 世紀の展望・ 21 世紀型学力・ 21 世紀に求められる「資質・能力」への理解・新学習指導要領について学ぶ。 第２回・道徳教育の意義と道徳性の発達について学ぶ。（事前課題を基に基礎的理解を深める） 第３回・新学習指導要領、並びに「特別の教科 道徳」の内容を理解し、「授業改善」「カリキュラムマネジメント」についてのポイントを学校の現状を踏まえつつ学ぶ。 第４回・教育課題の理解と、養護教諭としての道徳教育、並びに道徳の授業への参画と役割について学ぶ。また、道徳の授業づくりの実際についてその方法について学ぶ。 （事後課題として模擬授業について周知し、各グループで取組むようにする） 第５回・「総合的な学習の時間」の意義と目的を理解し、「授業改善」と「カリキュラム編成」のポイントについて学校も現状を踏まえつつ学ぶ。 ・「総合的な学習の時間」の具体的指導方法について現場の事例を通して学ぶ。 第６回・「道徳科」と「総合的な学習の時間」との連携による横断的・統合的な「資質・能力」の育成理論と実践について事例を通して学ぶ。 第７回・模擬授業の実践と具体的指導 第８回・「総合的な学習の時間」との効果的連携による「道徳教育」並びに「道徳の授業」の全体指導計画、並びにプロジェクト型指導計画の作成の仕方と構想 ・上記学修についての学習のまとめと、レポート課題の提示 → 評価	